

インフルエンザ流行ピーク越えたか

由利本荘医師会感染症担当理事
由利組合総合病院 朝倉健一

2月19日までの一週間は、インフルエンザ発生が136例みられ、内訳はA型76例、B型60例でした。先週より初めて減少に転じており、ピークを越えたかのように思われますが、まだ油断は禁物です。小学生のB型はまだ増えており、要注意です。

ワクチンの接種は、流行が続いていることを受けて2月いっぱいまで行うことにしました。希望の方は早めに連絡をお願いします。予防に関しては、例年通り、手洗いやうがいの励行とマスクの着用に心がけてください。また、咳やくしゃみをするときは、他の人に飛ばないように手で被ったりする咳エチケットを守ってください。

もし、急な高熱が出てインフルエンザと診断されても、4種類の薬が使用できます。早めの来院をお願いします。なお、診断された場合、職場あるいは学校においては最低5日間は休むようにしてください。



